厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区　Atsugi Rotary Club Weekly

会長　会田義明
副会長　西迫哲
幹事　髙橋浩
副幹事　十亀健志
会報・IT　栗原良幸

世界へのプレゼントになろう

2015～2016　国際ロータリー会長　K.R. "ラビ" ラビンドラン

例会場　厚木商工会議所 5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2686回例会（2月2日）☆司会　髙橋　宏 SAA

点鐘　…会田義明会長

斉唱　…君が代・厚木RCの歌

ゲスト紹介

彭（ホウ）　奕禎（イシン）君（米山奨学生）

認定NPO法人難民支援協会代表理事
石川えり様

ビジター紹介

大川　浩様（東京羽田RC）

会長報告

◎ガバナー事務所　より
・2月　ロータリーレート　1ドル＝120円
・「第8回新会員の集い」最終のご案内
◎公益財団法人ロータリー米山記念奨学会　より
・特別寄付金明細書　郵送送付廃止
　ファイル共有サービス　導入
◎㈱クマヒラ　会長　熊平雅人様　より
・「抜萃のつゞり　その七十五」

幹事報告

◎週報
・秦野RC
◎例会変更
・海老名RC
　2月15日（月）　→　2月14日（日）第6G　IMに振替
　2月29日（月）　→　休会（定款第6条第1節（C）による）

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊会員誕生日
三橋一皓君（10日）

＊結婚記念日
森住　等君（11日）

今日の例会（2016年2月9日）

「2011.3.11東日本大震災の記録
その時ハートはどう動いた」
担当：志保達郎君

次回の例会（2016年2月16日）

「北海道一周の旅」
担当：髙橋伸一郎君

世界へのプレゼントになろう

・海老名欅RC
2月4日(木)　→　2月7日(日)移動例会
「欅杯争奪えびな郷土かるた退会」
場所　海老名北部公園体育館
集合　8時30分

2月11日(木)　祝日休会
2月18日(木)　→　2月14日(日)第6G　IMに振替
・座間RC
2月10日(水)　→　2月14日(日)第6G　IMに振替
3月30日(水)　→　夜間例会

理事役員会 議事録

日時：　2月2日(火)　13：30～(例会終了後)
会場：　厚木商工会議所　408号室

1. 会長挨拶　　会田義明 会長

2. 例会行事

2月度例会		
9日(火)	卓　話	志保達郎 会員
16日(火)	卓　話	髙橋伸一郎 会員
23日(火)	卓　話	丸田隆弘 会員(Eクラブ)
3月度例会		
1日(火)	水と衛生月間	国際奉仕委員長 小林　透 会員
8日(火)	創立記念例会(移動例会)	会　長
15日(火)	卓　話	常磐重雄 会員
22日(火)	卓　話	栗原良幸 会員
29日(火)	卓　話	和田勝美 会員

3. 議題

①例会行事について		
②1月19日(火)	第7回会長幹事会報告	会　長
③2月14日(日)	IM　於：オークラ海老名	ホスト 大和田園RC
④2月21日(日)	ロータリーデイ	厚木3ロータリークラブ
⑤3月 8日(火)	創立記念例会(移動例会)	会　長
⑥その他		

スマイル

大川　浩様(東京羽田RC)
突然の訪問ゴメンナサイ。本日は半日で失礼します。御クラブのご発展を祈念して！

会田義明会長
認定NPO法人難民支援協会代表理事石川えり様、厚木クラブの例会へようこそおいで下さいました。本日の卓話よろしくお願いいたします。東京羽田ロータリークラブ大川様、米山奨学生 彭(ホウ)　奕禎(イシン)君、ようこそおいで下さいました。時間の許す限りゆっくりとお過ごし下さい。

西嶌洋一君
先日の母の葬儀には丁重なるご厚志をいただきまして、誠にありがとうございました。この年令になっても母恋しの思いは忘れられません。元気にスマイル致します。

飛鳥井豊君
先週はネイムプレイトを持ち帰り、今日は忘れて来ました。いよいよボケの始まりか。

市川信也君
誕生日のお祝いありがとうございます。

髙橋伸一郎君
誕生日の御祝の品を頂きましたので、ありがとうございます。

今日のお花

アルストロメリア(壽永純昭君)

卓話「世界の難民と日本～一人ひとりにできること～」平和と紛争予防／解決月間

担当：国際奉仕委員長 小林　透君

講師：認定NPO法人難民支援協会代表理事 石川えり様

紛争などを逃れて難民・避難民となった人は第二次世界大戦以降最悪の状況で6000万人を超えました。特に悪化しているのはシリアの状況で、2200万人の人口の2人に1人はすでに難民となり、国内か国外へ逃れている状況です。国外で最も逃れているのはトルコの230万人で、欧州よりもずっと多い数字です。内戦後すでに5年が経過しようとしていて、最初は周辺国で帰国の望みを持っていた人たちも、それが薄くなり、食糧配給も減る中で命を懸けて、希望が見える国へ移動しようとしています。欧州に多くの難民が移動している状況ですが、厳しい風も吹いているのが現状です。しかし、受け入れるという原則を崩さず対応している国も多く、各国の状況を丁寧に見ていく必要があると考えます。加えて、地続きでないアメリカ、カナダ、オーストラリアなどの国々は、難民を迎えに行って受け入れるという仕組みを採用しており、カナダはパリの同時多発テロ事件の後、2万5千人を今年の3月までに受け入れようとしています。

翻って日本の状況は、昨年の難民認定は27人と非常に少ない状況です。難民となるには、証拠をすべて自分で作成する等の厳しいハードルが課されています。また平均3年間の待機期間中、最低限のセーフティーネットがなくホームレスを余儀なくされる人が続出するなど厳しい状況に置かれています。難民はいつまでも支援を必要とする人ではなく、自立し、私たちと同じように社会に関わり、貢献することを願っている人も多くいます。東日本大震災の時、多くの難民は第二の故郷である日本で被災者を助けたいと志願して被災地に行き、支援に携わりました。日本に逃れてきた難民が、日本社会の中で排除されず、包摂されていくために、民間の支援の立場からできることをしていきたいと思います。皆様から寄せられたカンパは2万4千円となりました。温かいご支援に心よりお礼申し上げます。また、現場での支援を中心に大切に活用させていただきます。

出席報告　＜会員 40 名、出席対象 34 名＞

1 月 19 日例会　　確定出席率 86.11％	2 月 2 日例会　　出席 29 名　欠席 5 名　出席率 85.29％
	＜欠席＞ 常磐重雄君・前田賢一君・丸田隆弘君 三宅壯平君・小山賢司君